



FSCだより

北里大学獣医学部 附属フィールドサイエンスセンター

第 46 号 2012.8.30

FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

十和田農場から

獣医学科5年生の削蹄実習

6月29日（金）の午後から、5年生の大動物総合臨床学Ⅱ（外科学）実習として、十和田農場家畜棟のパドックにおいて牛の削蹄実習が行われました。これには、青森県装蹄師会の高橋会長はじめ6名の削蹄師に講師をしていただきました。

一昨年に文科省の口蹄疫対策事業で購入したアメリカ製の削蹄枠場は、牛にも人にもやさしい枠場で、削蹄師のみなさんの見事な技とともに、大いに活用されました。牛の蹄の保護は健康維持に重要です。これを機会に、蹄の管理法の重要性を理解してもらえればうれしいです。



削蹄実習（高橋装蹄師会会長の指導）



USA製の削蹄枠場を利用した削蹄

八雲牧場から

北里八雲牛普及推進協議会

北里八雲牛普及推進協議会の会長が、元牧場長の萬田富治客員教授から現牧場長である寶示戸牧場長に引き継がれました。また、JA 新函館のご援助により町内で生産に取り組んで頂いている酪農家の方々による「北里八雲牛生産者組合」が立ち上がりました。

北里八雲牛が八雲町の広告塔となる日が来ることを願っています。

放牧開始

5月22日に放牧が開始となりました。昨年も春先の低温により、雪融けの遅れ、放牧が遅れましたが、今年は昨年以上の大雪と雪解けの遅れでさらに遅れ、牛たちも放牧が待ち遠しかったことと思います。

三者協議開催

北里八雲牛生産から販売に係わる大学、マルハニチロ畜産および東都生協による三者協議が5月24～25日に開催されました。町内産北里八雲牛の生産行程の確認のため生産者組合の農家を視察し、視察終了後に北里八雲牛を八雲町内に周知するために北里八雲牛を取り扱って頂いているふるや精肉店の協力で、ステーキ丼の試食会が行われました。北海道議会議員の笹田浩様をはじめ川代八雲町長にもご参加いただき、参加者からは「美味しい」と大変好評でした。



第5回『大学は美味しい！！フェア』開催

5月29日～6月8日まで、新宿高島屋にて第5回「大学は美味しい！！フェア」に八雲牧場から久保田主任、十和田農場から田中さんが参加しました。今回は、北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所から



「福香ビール」と新潟の北里大学保健衛生専門学院より「酒粕パスタソース」の出店がありました。

八雲牧場の加工品は、昨年以上の売り上げがあり、初出展のビールとパスタソースは完売しました。

放牧行動調査が行われる

6月6日～8日にかけて、生態管理学研究室のみなさんが、八雲へ調査に来られました。放牧牛の行動調査や植生調査をGPSやライジングプレートを用いた調査で牧場職員も参加して試行錯誤しながら初回の調査を終了しました。今後の結果を期待したいとおもいます。

モンゴルより視察者来場

6月14日に、モンゴルより4名が視察に来訪されました。北里八雲牛や循環型畜産に大変興味を持たれ、現在モンゴルで問題になっている生活習慣病の改善にも対応可能なヘルシーな牛肉であると高く評価していかれました。

成澤シェフ来場

6月15日にNHKBS-1で毎週水曜日に放映されている「エルムンド」の取材のため北里八雲牛の得意先である横内商店の横内社長と北里八雲牛を利用いただいている成澤シェフが来場されました。

放牧地を見学され、北里八雲牛が食べている牧草をサラダにしたいとのご要望がありクローバーを持ち帰られました。



(編集担当：畔柳 正)